記者発表資料

令和 元 年 10 月 25 日
東北地方整備局岩手河川国道事務所

国道４号（盛岡南地区）の計画検討に関する意見聴取を実施します。

～みなさまのご意見をお聞かせください～

国道４号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している主要幹線道路です。

このたび、「盛岡南地区」の道路計画の検討にあたり、皆様のご意見をお聴きするアンケート調査およびヒアリングを行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート調査について

○調査期間：令和元年10月28日（月）～12月20日（金）
○調査内容：沿線地域住民や道路利用者等を対象に、対策案（ルート帯案）を検討していく上で、重視する項目や配慮する項目について意見を把握するために実施

調査方法	実施方法	実施期間
インターネット（WEB）	岩手河川国道事務所ホームページに掲載 http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/michi/R4_keikakudankai/index.html	10月28日(月) ～12月20日（金）
返信はがき	下記の公共施設に調査票と回収ボックスを設置 【岩手河川国道事務所、岩手県庁、各市町役場、道の駅】	11月12日(火) ～12月20日（金）
	盛岡市（盛岡駅以南）・矢巾町・紫波町の企業、花巻市・北上市・金ケ崎町の自動車関連企業へ郵送配布	11月22日(金) ～12月20日（金）
	盛岡市（盛岡駅以南）・紫波町にお住まいの方：郵送配布 矢巾町にお住まいの方：町の広報紙に添付して配布	11月22日（金） ～12月20日（金）

ヒアリングについて

○調査期間：令和元年10月28日（月）～12月20日（金）
○対　　象：盛岡市、矢巾町、紫波町の沿線自治体および団体
○調査内容：面談方式により、対策案（ルート帯案）を検討していく上で、重視する項目や配慮する項目について意見を把握するために実施

［発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会］

【お問い合わせ先】

国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
TEL019-624-3131（代表）　FAX 019-624-3207
副所長　増澤（ますざわ）　亨（とおる）　（内線 205）
調査第二課長　對馬（つしま）　正則（まさのり）　（内線 451）

別紙

●アンケート調査票・返信用はがきの配布

(1) 下図の盛岡市（盛岡駅以南）・矢巾町・紫波町の企業及び、花巻市・北上市・金ケ崎町の自動車関連企業へ郵送配布します。

・配 布 方 法：郵送にて配布します。

・配布予定日：令和元年 11 月 22 日（金）～

(2) 下図の①盛岡市（盛岡駅以南）・紫波町、②矢巾町にお住まいの方へ郵送または町広報紙添付により配布します。

・配 布 方 法：①郵送にて配布します。

②町広報紙に添付して配布します。

・配布予定日：令和元年 11 月 22 日（金）～

(3) (1)(2)以外の方 岩手河川国道事務所、岩手県庁の他、下記の各市町役場、道の駅にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置しております。

また、インターネットによる回答も可能です。

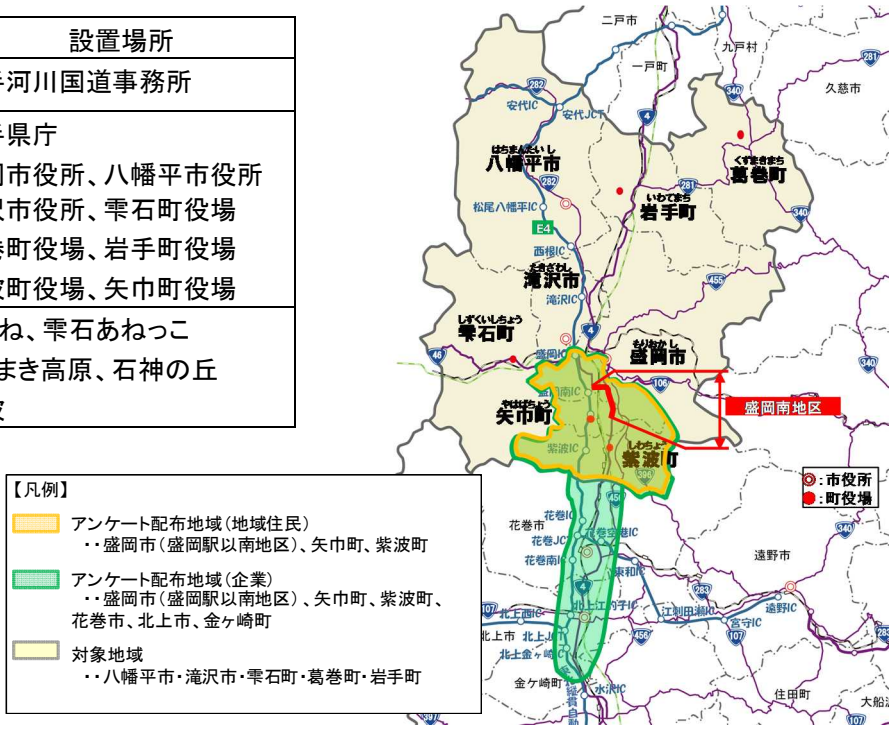
●アンケートの回答方法

(1) 返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、岩手河川国道事務所、岩手県庁、または下図の各市町役場、道の駅に設置してある回収ボックスへ投函してください。

【調査票・回収ボックス設置箇所位置図】

	設置場所
国土交通省	岩手河川国道事務所
県 市町役場	岩手県庁 盛岡市役所、八幡平市役所 滝沢市役所、雫石町役場 葛巻町役場、岩手町役場 紫波町役場、矢巾町役場
道の駅	にしね、雫石あねっこ くずまき高原、石神の丘 紫波



(2) インターネットによる回答

検索サイト スマートフォンから

「**盛岡南地区　アンケート**」で検索し、アンケートページへアクセスしてください。スマートフォンをお持ちの方は、右記のQRコードからでもアクセスできます。

盛岡南地区　アンケート　検索

岩手河川国道事務所 ホームページから

岩手河川国道事務所ホームページにある右記バナーより、アンケートページにアクセスしてください。



アンケートページＵＲＬ：http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/michi/R4_keikakudankai/index.html

国道４号（盛岡南地区）における
道路計画検討に関するアンケート【第２回】

国道４号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している主要幹線道路です。
本アンケートは、その一部を担っている「盛岡南地区」の計画検討にあたり、皆さまのご意見をお聞きするための調査です。
意見聴取は全部で２回行い、第１回意見聴取（平成30年11月～平成31年1月実施済）では地域の皆様が日頃感じている道路交通や地域の課題等についてご意見をお聞きしました。
第２回アンケート（今回）は、対策案（ルート帯案）を検討するにあたり、重視すべき事項についてご意見をお聞きしたく、ご協力をお願いします。

※本調査で頂いた皆さまからのご意見は、「盛岡南地区」の計画検討のため、地域からの意見として「社会資本整備審議会道路分科会 東北地方小委員会」に報告いたします。



アンケート

①地域の現状と課題
②道路交通の現状と課題
③政策目標（案）の設定
④意見聴取方法
⑤計画段階評価の手続きの進め方

今回 アンケート

①意見聴取結果の確認
②対応方針案（ルート帯案）の検討
③意見聴取方法

①意見聴取結果の確認
②地域意見を踏まえたルート帯の設定
③対応方針のまとめ

対応方針決定

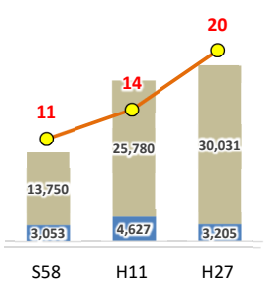
地域・道路の現状と課題

1. 交通混雑

【対象区間の旅行速度低下】

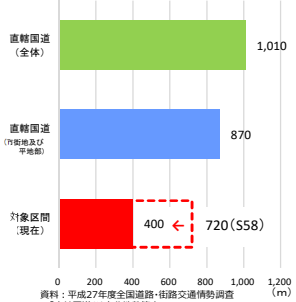
■沿線の市街化と共に交通量増加、また信号交差点も増加したため、交通処理能力が低下しています。
■通常走行時でも交差点が多い為に時間損失が必然的に生じるなど、主要幹線道路としての速達性・定時性が失われています。

《交通量・出入交差点数の推移》



資料：全国道路・街路交通情勢調査（対象区間の平均）

《信号交差点の間隔（平均距離）》



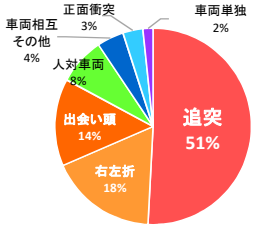
資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
※「直轄国道」は東北地整管内

2. 交通事故

【沿道出入りが多く、急挙動が多い】

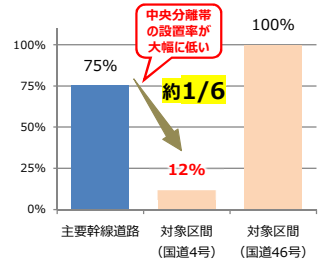
■対象区間は追突事故の発生割合が高くなっています。
■特に国道4号の中央分離帯未設置区間での右左折による頻繁な沿道との出入り交通により後続車の急ブレーキが生じるなど、道路の安全機能が低下している事が課題となっています。

▼対象区間の交通事故類型



資料：交通事故データ（H26～H29）

▼対象区間の中央分離帯設置率



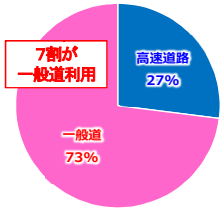
資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
※主要幹線道路は東北地方の直轄国道（4車線以上）を対象に集計

3. 物流効率

【物流拠点へのアクセス性に課題】

■対象地域は岩手県を代表する物流拠点です。
■物流拠点を発着する貨物車の約7割が一般道を利用しているものと考えられ、国道4号は物流ルートとしてのニーズがあります。
■しかし、国道4号は広域的な交通の他に地域内の利用交通も多く、道路交通の機能分担が適切に図られていないことが課題となっています。

▼物流の利用経路内訳



※ETC2.0データ：
2018.04～2018.06の３ヶ月間データ

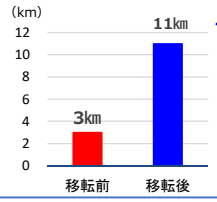


4. 救急搬送への影響

【第三次救急医療施設へのアクセス性に課題】

■第三次医療への搬送距離が移転後に拡大し、搬送ルートとなる国道4号の対象区間では、信号が多く急ブレーキも多い区間となっています。
■救急医療施設へのアクセス性の改善や、患者の負担を軽減する安定した搬送ルートの確保が課題となっています。

▼盛岡市域の医療施設連絡距離（二次→三次の平均アクセス距離）

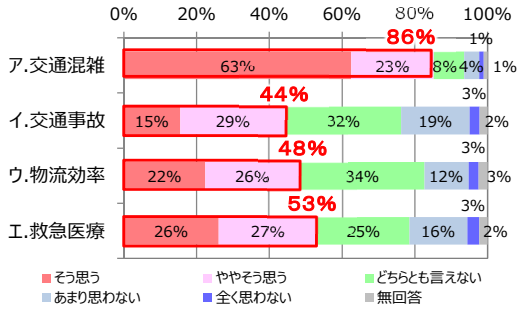




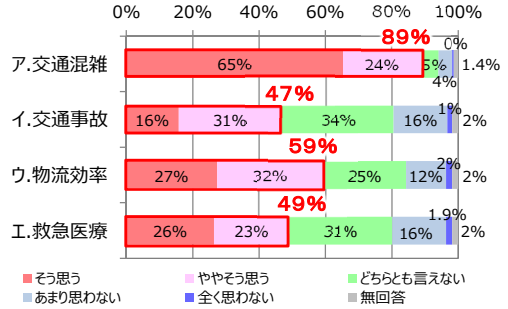
第１回アンケート概要

○地域の課題に対する認識について

▼住民アンケート 総回答数：16,275票



▼事業者アンケート 総回答数：216票



◆信号が多い、右折レーンがない【交通渋滞】
◆沿道からの出入りが多い【交通渋滞】
◆沿道からの出入り車両により急ブレーキをかけたことがある【交通事故】
◆中央分離帯や右折レーンの整備がされていない【交通事故】
◆国道4号と物流拠点のアクセス効率が悪い【物流効率】
◆矢巾SICから国道4号までの効率が悪い【物流効率】
◆渋滞していると救急車に道をあけられない【救急搬送】
◆信号が多く混雑した区間を通ることになる【救急搬送】
◆沿道の騒音・振動を減らしてほしい【その他】

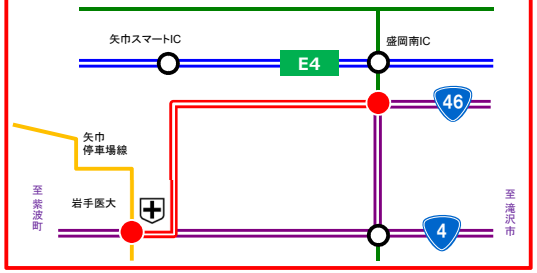
評価項目の選定

課題	政策目標	求められる機能	評価項目
交通混雑	主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復	信号交差点の集約化などにより、主要幹線道路としての機能を回復できるか	信号交差点の集約化
交通事故	主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保により、安全性を向上することができるか	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保
物流効率	円滑な物流ルートの確保	物流拠点へのアクセス性・定時性を向上することができるか	物流拠点までのアクセス性・定時性の向上
救急搬送	第3次医療施設へのアクセス性強化	救急搬送における患者への負担を軽減するとともに搬送時間を短縮することができるか	患者への負担軽減、搬送時間短縮

対応方針案（ルート帯案）の検討

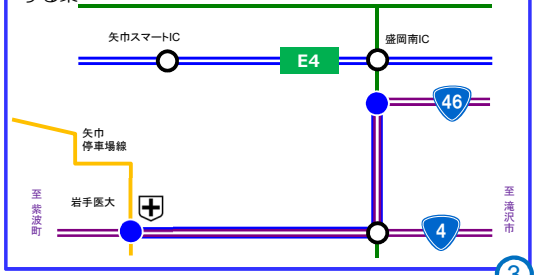
【案①】バイパス案

バイパス整備により道路交通の機能分担を図り、主要幹線道路としての機能を確保。併せて、物流拠点や第三次医療施設へのアクセス向上を図る案



【案②】現道再整備案

現道に中央分離帯および副道、交差点の右折レーン等の附帯施設を設置するとともに、交差点の集約化により主要幹線道路としての機能回復を図り、走行性・安全性を確保する案

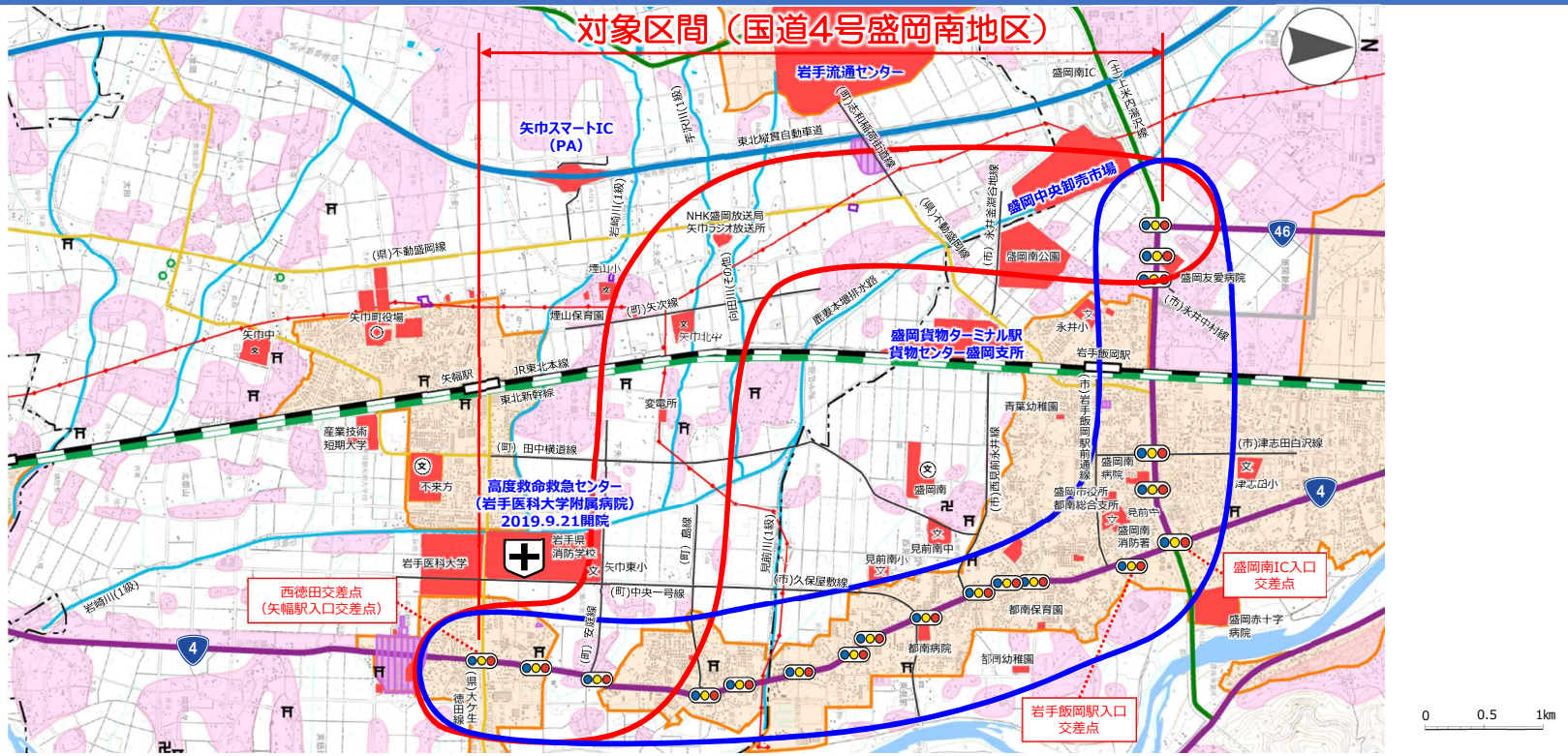


国道４号（盛岡南地区）の概ねのルート帯（案）

凡例(ルート帯(案))
- 【案①】 バイパス案
- 【案②】 現道再整備案

凡例(土地利用)
- 主要施設
- 神社仏閣
- 史跡
- 天然記念物
- 集落
- 用途地域
- 鉄塔・高圧線

凡例(道路)
- 高速道路
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道



対策案の考え方			【案①】 バイパス案	【案②】 現道再整備案
			• バイパス整備により道路交通の機能分担を図り、主要幹線道路としての機能を確保。併せて、物流拠点や第三次医療施設へのアクセス向上を図る案	• 現道に中央分離帯および副道、交差点の右折レーン等の附帯施設を設置するとともに、交差点の集約化により主要幹線道路としての機能回復を図り、走行性・安全性を確保する案
区間延長			約８km	約８km
政策目標	主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復	信号交差点の集約化	• 新たに整備するバイパスは、信号交差点を集約した道路を計画	• 現道の交差点集約と副道の整備により、信号交差点が集約された道路を確保
	主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保	• バイパス整備する際には、沿道との出入りをコントロールし、適切な道路構造により、安全・安心な走行空間を確保	• 現道に中央分離帯および副道、交差点の右折レーン等の附帯施設を設置することにより、安全・安心な走行空間を確保
	円滑な物流ルートの確保	物流拠点までのアクセス性・定時性の確保	• バイパス整備により、国道4号と物流拠点とのアクセスルートが確保され、主要幹線道路としての機能分担が図られることから、アクセス性・定時性が確保 • さらに矢巾SICとのアクセス性も向上	• 現道の信号集約により、遅れ時間の短縮は図れるものの主要幹線道路としての機能分担は図れない • 矢巾SICまでのアクセスルートも現状と変わらない
	安定した搬送ルートの確保	患者への負担軽減、搬送時間短縮	• バイパス整備により、患者への負担が軽減された安定した搬送ルートが確保され、搬送時間も短縮	• 現道の信号集約により患者への負担が軽減され、搬送ルートの信頼性向上と搬送時間短縮
配慮すべき事項	生活環境への影響	現道沿道環境（騒音・振動）の改善	• バイパス整備により、交通量がバイパスに転換することで、現道の沿道環境が改善	• 副道の整備により発生源から離れることで低減効果は期待できるものの交通量の転換が図られないため、現道の環境改善は限定的
	土地利用や自然環境への影響	土地利用や自然環境への配慮	• 耕作地に道路の盛土が築造されるため、現在の土地利用が改変される • 既往文献では、ルート帯に重要な動植物は確認されていない	• 現道の再整備であり、周辺の土地利用は変わらない • 既往文献では、ルート帯に重要な動植物は確認されていない
	周辺施設への影響	影響する家屋数	• 支障家屋が約５０件となり案②に比べ周辺施設への影響は少ない	• 支障家屋が約３００件となり周辺施設への影響が大きい。
経済性		事業費※	約３３０億円～約３８０億円	約３６０億円～約４１０億円

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

ページ④の「国道4号（盛岡南地区）の概ねのルート帯（案）」をご覧の上、アンケートにお答えください

＜アンケート回答例（表面）＞

郵便はがき　（1枚目）

料金受取人払郵便

盛岡中央局承認 1265

差出有効期間 令和元年12月31日まで

0 2 0 8 7 9 0

100

岩手県盛岡市上田4-2-2
国土交通省　東北地方整備局
岩手河川国道事務所　調査第二課 行

ご協力お願いいたします。

あなたについてお聞きします。

性別	年齢	第1回アンケートへの回答
(男)・女	30 歳代	(1)回答した　2.回答していない

職業　(会社員)・公務員・自営業・学生・主婦・無職　その他（　　）

〒［ 020 － 0866 ］
住所［ 岩手 ］都道府県(県)［ 盛岡 ］市区町村(市)［ 本宮 ］※番地不要

国道4号（盛岡南地区）の道路利用についてお聞きします。

問1　主な利用頻度
(1)週5日以上　2.週3～4日　3.週1～2日　4.月数日　5.年数日　6.利用しない
（※問5（裏面）へ）

問2　主な移動手段
(1)自動車　2.公共交通（ﾊﾞｽ・ﾀｸｼｰ）　3.バイク　4.自転車　5.徒歩

問3　主な利用目的
(1)通勤・通学　2.仕事　3.家事（買物など）　4.通院
5.観光・レジャー　6.その他（　　）

問4　主な目的地　［ 岩手 ］都道府県(県)［ 矢巾 ］市区町村(市)

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます。）

⇒裏面に続きます

・当てはまる項目を○で囲んでください。
・年齢は数字をご記入下さい。
・ご住所は地区名まで、主な目的地は市町村名までご記入下さい。
・その他を選択した場合は（）内に詳細をご記入ください。

＜アンケート回答例（裏面）＞

こちらは裏面（表面からの続き）です。　（1枚目）

問5　今回、ルート帯案を検討していますが、対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。

(1)主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復が図られる道路となっていること
(2)主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保が図られる道路となっていること
3. 円滑な物流ルートの確保が図られる道路となっていること
(4)安定した救急搬送ルートの確保が図られる道路となっていること
5. 生活環境（騒音・振動）への影響が小さいこと
6. 土地利用や自然環境（動植物の生態系）への影響が小さいこと
7. 沿道施設への影響が小さいこと
8. 事業費（コスト）が安いこと
9. その他（　　）

・3つまで回答下さい

問6　問5でチェックした項目について特に重視すべきと思う理由について、ご自由にお書き下さい。（自由回答）

問7　問5でチェックした項目以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書き下さい。（自由回答）

・ご自由にご意見をお書き下さい

ご協力ありがとうございました

◆返信方法

回答いただいたハガキは、郵便ポストに投函（切手不要）いただくか、岩手河川国道事務所、岩手県庁、市役所、町役場、道の駅（にしね、雫石あねっこ、石神の丘、くずまき高原、紫波）等に設置した回収ボックスに投函をお願いします。

○「アンケート回答用 返信はがき」を2枚添付させて頂いております。幅広い年齢層の方からご意見を伺いたいため、1枚目については、誕生日が記入日に近い方、2枚目は、他のご家族の方に記入頂きますようご協力をお願いいたします。

○なお、ご協力頂けるにもかかわらず、意見聴取回答用はがきが不足している場合は、お手数ですが、インターネットまたは岩手河川国道事務所、岩手県庁、市役所、町役場、道の駅（にしね、雫石あねっこ、石神の丘、くずまき高原、紫波）等に設置した回収ボックスに備え付けの回答用返信はがきをご利用下さい。

◆締切

アンケートへのご回答は、
令和元年12月20日（金）まで　にお願いします。

●インターネットによる回答を行う場合には、「岩手河川国道事務所のHP」から下のバナーをクリックしてアンケートにお答えください。
●下のQRコードからもアクセス可能です。

実施期間 令和元年 12月20日(金)まで　ご意見募集中！
国道4号（盛岡南地区）

アンケートに関するお問い合わせ
岩手河川国道事務所　調査第二課
TEL:019-624-3196　FAX:019-624-3264

→回答はがき（返信用）→　※はがきは2名分添付しておりますが、1名のみの回答でも構いません

郵便はがき　（1枚目）

料金受取人払郵便

盛岡中央局承認 1265

差出有効期間 令和元年12月31日まで

0 2 0 8 7 9 0

100

岩手県盛岡市上田4-2-2
国土交通省　東北地方整備局
岩手河川国道事務所　調査第二課 行

ご協力お願いいたします。

あなたについてお聞きします。

性別	年齢	第1回アンケートへの回答
男・女	歳代	1.回答した　2.回答していない

職業　会社員・公務員・自営業・学生・主婦・無職　その他（　　）

〒［　　－　　］
住所［　　］都道府県［　　］市区町村［　　］※番地不要

国道4号（盛岡南地区）の道路利用についてお聞きします。

問1　主な利用頻度
1.週5日以上　2.週3～4日　3.週1～2日　4.月数日　5.年数日　6.利用しない
（「6.利用しない」を選択した方は、問5（裏面）へ）

問2　主な移動手段
1.自動車　2.公共交通（ﾊﾞｽ・ﾀｸｼｰ）　3.バイク　4.自転車　5.徒歩

問3　主な利用目的
1.通勤・通学　2.仕事　3.家事（買物など）　4.通院
5.観光・レジャー　6.その他（　　）

問4　主な目的地　［　　］都道府県［　　］市区町村

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます。）

⇒裏面に続きます

こちらは裏面（表面からの続き）です。　（1枚目）

問5　今回、ルート帯案を検討していますが、対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。

1. 主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復が図られる道路となっていること
2. 主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保が図られる道路となっていること
3. 円滑な物流ルートの確保が図られる道路となっていること
4. 安定した救急搬送ルートの確保が図られる道路となっていること
5. 生活環境（騒音・振動）への影響が小さいこと
6. 土地利用や自然環境（動植物の生態系）への影響が小さいこと
7. 沿道施設への影響が小さいこと
8. 事業費（コスト）が安いこと
9. その他（　　）

問6　問5でチェックした項目について特に重視すべきと思う理由について、ご自由にお書き下さい。（自由回答）

問7　問5でチェックした項目以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書き下さい。（自由回答）

ご協力ありがとうございました

郵便はがき　（2枚目）

料金受取人払郵便

盛岡中央局承認 1265

差出有効期間 令和元年12月31日まで

0 2 0 8 7 9 0

100

岩手県盛岡市上田4-2-2
国土交通省　東北地方整備局
岩手河川国道事務所　調査第二課 行

ご協力お願いいたします。

あなたについてお聞きします。

性別	年齢	第1回アンケートへの回答
男・女	歳代	1.回答した　2.回答していない

職業　会社員・公務員・自営業・学生・主婦・無職　その他（　　）

〒［　　－　　］
住所［　　］都道府県［　　］市区町村［　　］※番地不要

国道4号（盛岡南地区）の道路利用についてお聞きします。

問1　主な利用頻度
1.週5日以上　2.週3～4日　3.週1～2日　4.月数日　5.年数日　6.利用しない
（「6.利用しない」を選択した方は、問5（裏面）へ）

問2　主な移動手段
1.自動車　2.公共交通（ﾊﾞｽ・ﾀｸｼｰ）　3.バイク　4.自転車　5.徒歩

問3　主な利用目的
1.通勤・通学　2.仕事　3.家事（買物など）　4.通院
5.観光・レジャー　6.その他（　　）

問4　主な目的地　［　　］都道府県［　　］市区町村

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます。）

⇒裏面に続きます

こちらは裏面（表面からの続き）です。　（2枚目）

問5　今回、ルート帯案を検討していますが、対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。

1. 主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復が図られる道路となっていること
2. 主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保が図られる道路となっていること
3. 円滑な物流ルートの確保が図られる道路となっていること
4. 安定した救急搬送ルートの確保が図られる道路となっていること
5. 生活環境（騒音・振動）への影響が小さいこと
6. 土地利用や自然環境（動植物の生態系）への影響が小さいこと
7. 沿道施設への影響が小さいこと
8. 事業費（コスト）が安いこと
9. その他（　　）

問6　問5でチェックした項目について特に重視すべきと思う理由について、ご自由にお書き下さい。（自由回答）

問7　問5でチェックした項目以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書き下さい。（自由回答）

ご協力ありがとうございました

←回答はがき（返信用）←